

# 教育課程等に係る特例制度を活用した 大学間連携パートナー校を募集しています。



文部科学省が推進する「教育課程等に係る特例制度」を活用し、**各大学の創意工夫に基づく先導的な取組を行うことに関して、放送大学を活用**してみませんか？

令和7年9月26日「2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議」（文部科学省）における放送大学提言資料  
[https://www.mext.go.jp/content/20250926-mxt-sigakugy-000045054\\_06.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250926-mxt-sigakugy-000045054_06.pdf)

本学が制度活用をサポートします。  
まずは、右記の担当部署まで、お気軽に  
ご相談ください。

放送大学 学務部 連携教育課連携協力チーム 連携第二係

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2-11  
tel : 043-298-4256  
mail : [renkei@ouj.ac.jp](mailto:renkei@ouj.ac.jp)



全国の大学等のカリキュラム上の諸課題に対し  
放送大学を効果的に利用できるのでは？

・放送大学学園法により設置された特別な学校法人である「放送大学学園」が設置する**通信制大学**  
 ・文理幅広い400科目以上を常時開講し、学習～評価まで**インターネットで完結し、時間と場所から解放**  
 ・**他大学との連携による日本の大学教育の改善**を、設立目的に掲げ、全国の約4割の大学と単位互換協定

## 課題例

文理横断的デジタル人材の育成

地域産業人材の育成

多言語対応人材の育成

## 全国の大学・短期大学

強みの専門分野  $\left( \begin{array}{l} \text{人文 社会科学 教員養成} \\ \text{芸術 ビジネス 文化} \\ \text{スポーツ 保健福祉} \dots \end{array} \right)$

強みの専門分野 + 実践的な教育プログラム  $\left( \begin{array}{l} \text{地域課題解決型PBL 地域イ} \\ \text{ンターンシップ フィールド} \\ \text{ワーク 学生交流プログラム} \dots \end{array} \right)$

強みの専門分野  $\left( \begin{array}{l} \text{観光学 福祉学 幼児保育学} \\ \dots \end{array} \right)$

## 放送大学

数理・DS・AI 関連科目  $\left( \begin{array}{l} \text{データ構造の基礎} \\ \text{AIシステムと人・社会との関係} \\ \text{情報セキュリティ概論} \dots \end{array} \right)$

・教養科目や学部共通科目を代替  
 ・文理横断型基礎教育体制の構築に活用

多様な語学科目  $\left( \begin{array}{l} \text{英語 ドイツ語 フランス語} \\ \text{中国語 韓国語 トルコ語} \\ \text{スペイン語} \dots \end{array} \right)$

特例制度活用で、自学開設せず、  
カリキュラムに取り込むことが可能に。

## 更なる高度化・特色化

出身学部に関わらず、様々な現場で、  
AI・DSを活用できるデジタル人材の  
育成

時間と場所の制約がない通信教育で教養  
部分等を代替し、実践的な学習プログラ  
ムに資源集中

様々な現場で、多言語によるサービス  
を提供・対応できる人材の育成

## 「教育課程等に係る特例制度」

大学の創意工夫に基づく取組を促進し、今後の大学設置基準の改善につなげるため、内部質保証等の体制が十分機能していることを前提に、「**先導的な取組**」について**対象規定の全部又は一部によらない教育課程を認める**制度

<対象規定> **19条第1項(授業科目の自ら開設の原則)**、第22条(1年間の授業期間)、第28条・第29条第2項・第30条第4項(単位互換等の60単位上限)、第32条第5項(遠隔授業の60単位上限)・・・等

## 期待される効果

### 学生面

- ・多様なニーズに応える
- ・幅広い知識の修得
- ・時間割の自由度向上、活動時間確保
- ・資格取得によるキャリア形成
- ・学びの機会の確保
- ・地域内外での交流、活動機会の充実

### 教学面

- ・カリキュラムマネジメントの負担軽減
- ・教員の研究時間の確保
- ・小規模、人社系大学等においてもダブルメジャー教育が可能に
- ・通学困難な学生への、学びの機会確保

### 経営面

- ・地域の高等教育アクセス確保、ブランド力向上
- ・資源の有効活用、新たな教育研究への構造転換や改革の推進
- ・コスト縮減や教員負担軽減による経営の効率化



放送大学との連携により、**対面授業と遠隔・オンライン教育との双方の良さ**を活かした、「**先導的な取組**」を提案できる。